地域とともにある学校づくり

品川コミュニティ・スクール通信　VOL.19

パートナーシップでSDGsを達成しよう！

実りの秋と品川ＣＳの活動

令和６年１１月８日 発行

品川区はSDGs（※1）の達成に向けて優れた取組を提案する都市として、内閣府から2024年度の「SDGs未来都市」に選定されるとともに、その中でも特に先導的な取組を行う「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。

品川区の学校でも様々なSDGsに関する取組を行っていますが、今回は、学校支援地域本部が中心となって行っている環境分野での取組などを紹介します。

循環型社会への取組

子どもとともに推進する循環型社会の事例として、清掃事務所からリサイクル土をいただき、江戸伝統野菜の品川かぶの植え付けをいくつかの学校で行いました。

リサイクル土とは、家庭で園芸用などに向かなくなった土を清掃事務所が回収し、再生作業を行った土のことです。

地域や保護者ボランティアが土づくりを行いました

御殿山小学校では、学校地域コーディネーターが保護者ボランティアに声をかけて、土づくりを行い、生活科の授業で、2年生が品川かぶのタネを植えるのを手伝いました。収穫が楽しみですね。

（※１）SDGsとは
持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称。平成27（2015）年に国連サミットで加盟国（193か国）が全会一致で採択した国際目標で、世界の経済・社会・環境の3つの側面から17のゴールを構成し、令和12（2030）年までに「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指す取組。

水田を整備

第一日野小学校では、コロナ禍で中断していた「米づくり」を再開しました。まずは、水田の整備から始めなくてはなりません。

そこで、学校地域コーディネーターがボランティアの力を借りて、用務主事さんとともに雑草をとり、土を耕しました。

５月には水を入れ、５年生が社会科の学習の一環として、代かきと田植えを体験しました。

稲の生長過程で、稲の害虫のニカメイガを退治したり、スズメから稲を守ったり、管理するのは大変だったそうです。

１０月になり、５年生が収穫を行いました。田畑のない品川区において、代かき・田植えからお米ができるまでを学校で体験できたことは、貴重な体験となったことでしょう。

なお、稲は、イオン米を毎年福島県喜多方市の農業科指導員只浦義弘さんよりいただいており、多くの区内の小学校で、稲を育てています。

環境を守るための取組を学ぶ

立会小学校では、４年生がＳＤＧｓについて学んでいます。

９月には、スケルトン車が来て、清掃事務所の方の出前授業を受け、ごみの分別の大切さ３Ｒ（※2）を学びました。

（※2）3Rとは
1．Reduce
（リデュース）
2．Reusu
（リユース）
3．Rucycle
（リサイクル）
の3つのRの総称

３学期には、「生ごみからエネルギーを作ろう！」という東北大学大学院の多田千佳准教授のバイオガス出前授業を毎年行っています。

授業の前半は、植物が牛の胃の中で微生物の働きによってメタン発酵をしてゲップ（バイオメタンガス）が出る仕組みを学び、ペットボトルを牛の胃に見立てて、実際に給食の生ごみで生成実験をします。

後半はその方法で生成したバイオガスを使って、お湯を沸かす実験をします。

生ごみをミキサーで砕くなどの実験の後始末や教室の机の清掃、火をつける際の安全補助など、ボランティアの手が必要で、品川コミュニティー・スクールならではの出前授業となっています。

子どもたちは「生ごみがエネルギーになるなんて驚いた」など、地球温暖化を防ぐ再生可能エネルギーを学ぶ出前授業を通して、ＳＤＧｓや環境への理解を深めています。

児童・生徒の声を聞こう

「こども基本法」の趣旨に従い、校区教育協働委員会委員をはじめ地域の大人や保護者、教職員が子どもたちの意見を聞く場として、「品川コミュニティ・スクール　ＤＡＹ」を各校で実施しました。

冨士見台中学校では、「ウェルビーイングな学校って、どんな学校」というテーマのもと、校区教育協働委員会の委員と生徒、教員が話し合いました。

まずは、「ウェルビーイングな学校って？」そして、そのために学校ができること、地域でできることについて話し合いました。地域でできることとして、積極的な関わりが求められていることがわかりました。

また、鈴ケ森小学校・中学校では、合同で、代表委員と生徒会の生徒と、校区教育協働委員会の委員が「より良い学校にするためには」というテーマで縦割り活動やあいさつ、言葉遣い、校則、自主性を育てる委員会活動などについて話し合いました。

台場小学校では、６年生の市民科の授業「みんなでよりよいまちをつくろう」の一環で、「観光」「福祉」などのグループに分かれて探究学習を行ってきたことを中間発表しました。その発表に対して、地域のＮＰＯや企業、委員、保護者などがアドバイスを行いました。

地域の方々との対話を通して、児童・生徒も様々なことに気づいたようです。普段の学校生活では得られない貴重な時間となりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

発行・問い合わせ

品川区教育委員会事務局
指導課学校地域連携係

〒140-8715
東京都品川区広町2-1-36
TEL. 03-5742-6595

品川コミュニティ・スクールについて、ホームページで詳細をご紹介しています。

品川コミュニティ・スクール　検索